

# TMKミライデザインプロジェクト (玉城町明るい未来推進プロジェクト)

## 玉城町のまちづくりを進めよう!

本活動は、玉城町住民、玉城町役場、地域支援マネージャー、そして学生チームが連携し、地域の魅力再発見と課題解決を目指す取り組みです。私たち学生チームは、イベントの企画・運営をする中で、学生ならではの意見を提案し、よりよいまちになるように全員が考える取り組みを行っています。

**メンバー数**：7名  
**活動場所**：玉城町  
**実施主体**：玉城町まちづくり推進課  
**担当教員**：池山 敦 (教育開発センター)  
**活動年度**：H30, R01, R02, R03, R04, R05, R06, R07



### 1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度は地域の魅力について主観的・客観的に意見を共有しあう活動と、地域の防災について考える活動を行いました。

「玉城町のこれからを考えるワークショップ」では玉城町の魅力や強みについて、そしてまちの課題について意見を交流し合い、交流する活動を行いました。観光などの資源として町外に住む人から見えるものを話し合うのではなく、私たちの生活に密着した買い物や日常の交通など幅広い分野で住民の方々と玉城町の現状を共有しました。私たち学生は客観的に見た玉城町の魅力や改善点をお伝えして、よりよい話し合いの機会になるよう心掛けました。

まちあるきでは、勝田地区に住む子どもたちに小学校の登下校の際や近所で遊ぶ時に危険だと思った場所、地震や洪水などの災害が起きた時に気を付けなければならない場所を鳥羽商船高等専門学校の学生が本プロジェクトのために開発してくれたアプリ「ロゲミン」にて8箇所ピックアップしてもらい、その中の5箇所を確認し、写真を撮りに行きました。学生は子どもたちが安全にまちあるきができるように見守りながら、子どもたちに「この危険だと思ふ場所はどこなところだろう?」「どうしたら安全になると思う?」などを問いかけて考えるヒントを与える役割を担いました。そして、まちあるき後に子どもたち全員で訪れた場所が危険だと思った理由を話し合い振り返りを行いました。また、その後、まちあるき後にポリ袋炊飯でご飯を子どもたち自身でつくる体験を通して、ポリ袋炊飯が災害時に使えることを一緒に学び、その後できあがったご飯にカレーライスにしてみんなで食べました。

「コスモス祭り」では、8月に実施したまち歩きで作成した危険予測マップをもとに、大学で作成した立体模型に旗を指して地域の危険箇所を地域住民に改めて確認してもらった活動を行いました。また、立体模型を見ている中で、自分たちの家や地域のシンボルの位置などを探している中で住民同士会話が広がっており、良い活動を行うことができたなど感じました。

### 月別活動

- 5月 キックオフミーティング
- 6月 玉城町のこれからを考えるワークショップ
- 8月 勝田地区まちあるき
- 11月 コスモス祭り
- 1月 まちあるきのための地図作り
- 2月 田丸地区まちあるき

### 活動を通して学んだこと

玉城町の魅力や現状についてワークショップやまちあるきで知ることができ、地域住民の方が自分の住んでいる地域をどのように思っているのか、これからどうしていきたいのか、ということを感じることができました。子どもから年配の方と幅広い世代の住民と意見交流をすることができ、私たち自身のコミュニケーション能力が向上したと感じるとともに、地域のコミュニティの必要性をより感じました。昨年は防災において地域の連携、コミュニティの形成が必要不可欠であるということに気づくことができましたが、今年度は日常の生活をよりよくするためにも同じ地域に住む住民同士が意見を共有し、合意形成することでまちづくりが行われていくことを学びました。

### 実施主体からのコメント

#### 玉城町まちづくり推進課 ご担当者様

コスモス祭りでの立体模型展示や、まちあるき後の「ポリ袋炊飯」の実践は、住民の防災意識を高める機会になりました。立体模型に旗を立てて危険箇所を確認する活動では、住民同士が自宅や地域のシンボルを探しながら自然に会話を弾ませており、地域コミュニティの重要性を再認識する貴重な場となりました。また、まち歩き後の学生の皆さんが自ら提案・実践してくれたポリ袋炊飯は、地域の危険箇所を確認するだけでなく、「災害時に役立つ知識を体験から学ぶ」という付加価値を学生主導で加えた、素晴らしい創意工夫でした。

自ら考え、形にする実行力は、これからのまちづくりに欠かせないだけでなく、皆さんが社会に出た際にも必ず大きな財産になると確信しています。

### 担当教員より

#### 教育開発センター 池山 敦

1年間お疲れ様でした。玉城町の住民の皆さんと向き合い、アプリや模型を活用して「地域の安全」を可視化した取り組みにチャレンジすることができました。運営上の悩みや「合意形成」の難しさに直面したことも、地域社会を支えるための本質的な学びだと思います。一方で、それぞれ参加できる活動にムラがあったことも事実です。そのムラを均すために、チーム内で情報共有や、振り返りをする方法を工夫すると良いですね。メンバーで食事をしたりすることもいいかもしれませんね。いずれにせよ今年の経験を活かし、来年もぜひ活動を盛り上げていってください。

こんな人におすすめ!

- ・人と接することが好きな人
- ・積極的に話しかけられる人
- ・地域のコミュニティに興味がある人
- ・大学生でしか味わえない経験がしてみたい人



### 成果物 / 制作物

**勝田地区 安心安全 子どもまち歩き**

2025 8/9(土)  
9:00~13:00  
勝田公民館

**ないよう**

まち歩き  
みんなのまちに、危ないところはないかな? 災害の被害が起きないためにまちあるきで確認してみよう! 鳥羽商船高等専門学校の皆さんから開発したアプリを使って、楽しくまちあるこう!

ポリ袋炊飯体験  
昼食はカレー! こぼれはポリ袋炊飯で炊きます!

勝田地区の児童・児童・保護者、親子連れは対象外です。お父さんとお母さんと一緒に参加してください!

**よいい**

9:00 集合、ルール説明、地図作成  
まち歩き開始  
11:30 祭り盛り上げ会  
13:30 閉会挨拶、終了

**参加費 無料**

**もちもの**

帽子、タオル、飲み物 他  
※弊中継対策を万策にお預けし、必ずお茶は参加費に改めてご連絡します

【主催/お問合せ】 玉城町まちづくり推進課 TEL. 0596-58-8208  
協力：皇學館大学 TMK(3行)427 R2 111、勝田地区自主防災会